

平成19年7月9日

集中環境施設内における非放射性の水漏れについて

平成19年7月6日午後1時20分頃、集中環境施設*地下2階のドラム缶運搬用通路において、水噴霧消火設備の吹き出し口より非放射性の水が漏れていることを、協力企業作業員が発見し、消防設備の点検を行っていた作業員に連絡いたしました。

ただちに、連絡を受けた作業員が吹き出し口につながる配管の弁を閉めたことにより、漏えいは停止いたしました。

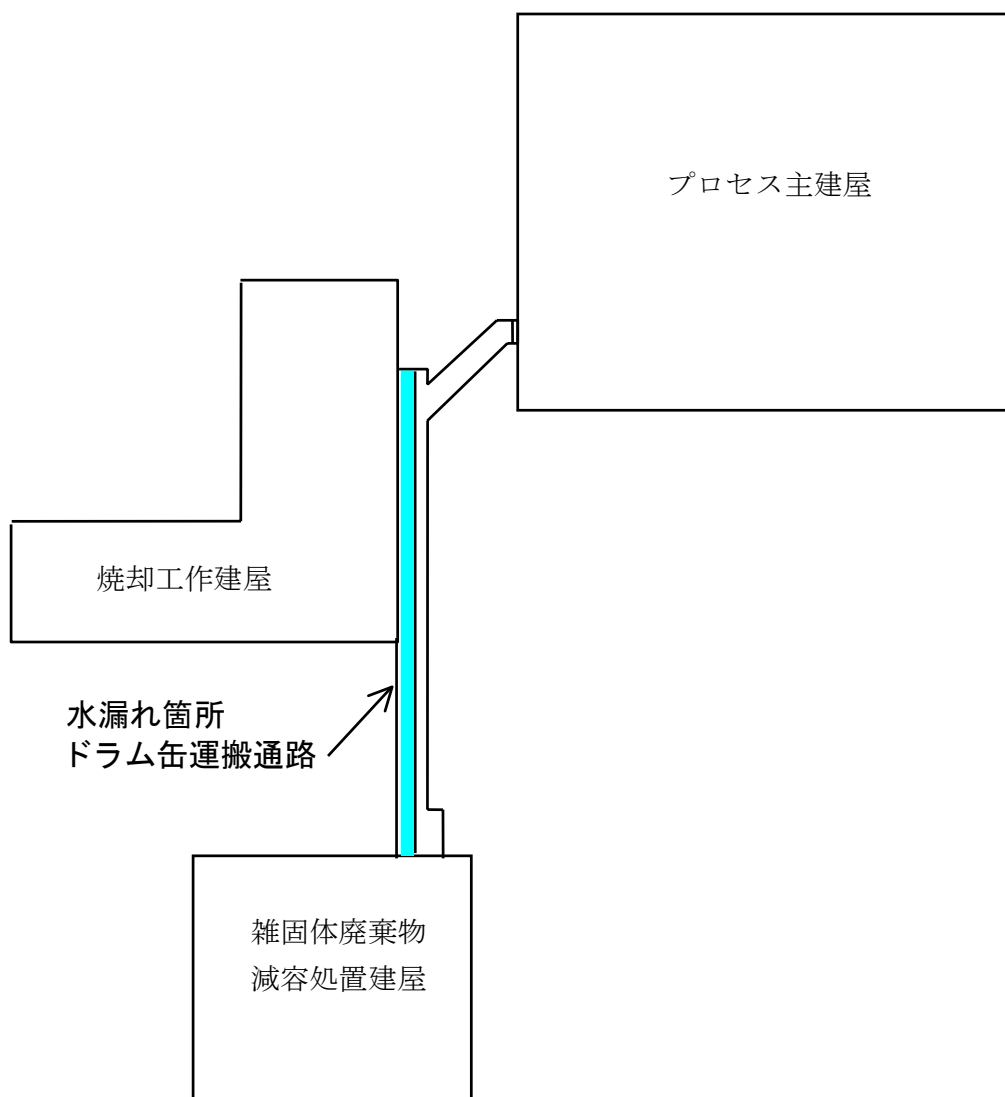
今後、漏えいの原因について調査いたします。

なお、漏れた水の量は約400リットルであり、回収および清掃を実施いたしました。これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

* 集中環境施設

発電所で発生する放射性廃棄物を処理するための施設。



集中環境施設内での水漏れ箇所